

津山の農業施策は



安東伸昭

農地

問 農地中間管理機構（※）（農地集積バンク）に関する平成28年度からの制度改定の内容はどのようなものか。

答 国においては県への協力金交付基準を大幅に見直し、交付額全体を縮減する制度改定を行っている。これを受けて岡山県においても農地の集積協力金の単価や算定方式など、交付要件の一部を変更している。

農家への影響が大きいと思われるものとしては、経営転換協力金が挙げられる。昨年度までは面積に応じて1戸当たり30万円、50万円、70万円の交付基準

としていたものが、平成28年度からは10アール当たり4万円以内が基準となっている。



意欲ある農家に支援を

【その他の質問項目】

◆津山城跡の整備計画
◆協働推進員の活動の提言

食品ロスの具体的な数値目標・給食残食の取り組みは



公明党 津山市議員 広谷桂子

食品ロス

問 食品ロスにおいて具体的な対策及び数値目標は。

答 第2次津山市食育推進計画で、食事を残さないように食べたり無駄なく調理したりする人の増加を図るよう、平成23年度の75・2%を85%にする目標を設定している。

問 学校給食の残食を減らす取り組みは。

答 平成27年度学校給食残食調査で平均残食量は、一人当たり小学生25・7g、中学生120・8g。「残さず食べよう」といった学校独自の取り組みで成果を上げている例もあ

る。

子育て

問 4月から開始した「子育て世代包括支援センター」の現状は。

答 支援の必要な妊婦や育児に不慣れで不安を抱きやすい母親に電話を入れ、安心を与えることができる。



【その他の質問項目】

◆がん教育

津山駅周辺整備と駅南のまちづくり



緑風会 金田稔久

津山駅周辺整備

問 津山駅の周辺整備における南北自由通路の整備への取り組みはどうなっているのか。

答 南北自由通路の整備は、概略設計・JR西日本との協議を進めている。

問 津山駅南側の整備は。

答 駅周辺のにぎわい創出や公共交通の利便性・快適性向上を図るため、駅南側の整備に向けて検討をしている。

問 JR津山駅の列車入線時に郷土ゆかりのメロディー化への働きかけは。

答 本年度中にメロディーを流せるようにJR西日本側と協議を進めている。



津山駅列車入線メロディー化実現

【その他の質問項目】

◆第5次総合計画の具現化と地方創生事業の取り組み
◆津山圏域グリーンセンターの稼働状況と周辺交通対策